

全国学力・学習状況調査について



文部科学省は平成19年度から小学6年、中学3年の児童生徒を対象に全国学力・学習状況調査を実施しています。今年度は、4月21日に調査が実施され、8月25日に結果が公表されました。調査は国語および算数・数学について、主に知識に関する問題（国語Aおよび算数・数学A）と、主に活用に関する問題（国語Bおよび算数・数学B）と、今年度は新たに加えられた理科となっています。

また、児童生徒の生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査も実施しています。



教科に関する調査

小学校が、すべての教科で県と全国の平均を上回りました。非常に良好な状況にあると言えます。

中学校は、すべての教科で全国平均を上回り、数学では県平均を上回ることができました。こちらも概ね良好な状況にあると言えます。

結果の考察

小学校国語

小学校国語は、言語に関する問題の正答率が非常に高く、漢字の読み書きや主語と述語の関係が県平均よりも高い正答率となっています。

しかし、文章の書き方の工夫が県平均をやや下回っていました。具体的な事例を挙げて説明すると分かりやすくなる、ということを実感させていく必要があります。

小学校算数

小学校算数は、数と計算や数量関係の領域で県平均を上回ることができました。特に、数と計算では、小数や分数の計算の正答率が高く、数量関係では、割合の問題が高くなっています。しかし、図形では若干ではあります。図形をさまざまな視点から見ると、課題が見られます。

左下の問題は、三つの辺がすべて等しいという正三角形の性質をもとに、辺の長さが等しくなる位置を求める問題です。

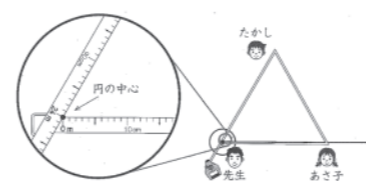
正答は「8m、16m」ですが、「8m、8m」という答えが全体の1割を占めたことから、性質は十分に理解しているものの、問題に即した答えを求めることが苦手になっているということが分かります。

小学校理科

小学校理科は、用語の理解や実験器具の使い方などの基礎的な内容の定着が十分にできていますが、理由を説明する問題が不十分でした。

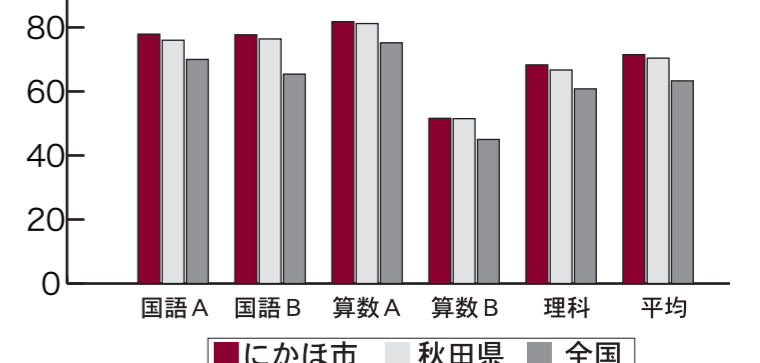
小学校算数Bから一部抜粋

正三角形を下図のように巻き尺でつくります。先生は、巻き尺の「0m」のところと「24m」のところを持って、円の中心に当てました。そして、あさ子さんとたかしさんに、「まわりの長さが24mの正三角形になるように巻き尺を持ってください」といいました。



問) あさ子さんとたかしさんは、それぞれ巻き尺の何mのところを持ってよいですか。答えを書きましょう。

小学6年 平均正答率の比較



中学校国語

中学校国語は、県平均をわずかに下回る結果となっており、言語に関する問題はよくできていますが、文の内容を正しく理解して適切なものを選択する問題に課題が見られます。

中学校数学

中学校数学は、基礎的な計算等は県平均を大きく上回っており、非常に良好な状況にあります。グラフの読み取りや数と数との関係の問題をやや苦手としている傾向にあります。

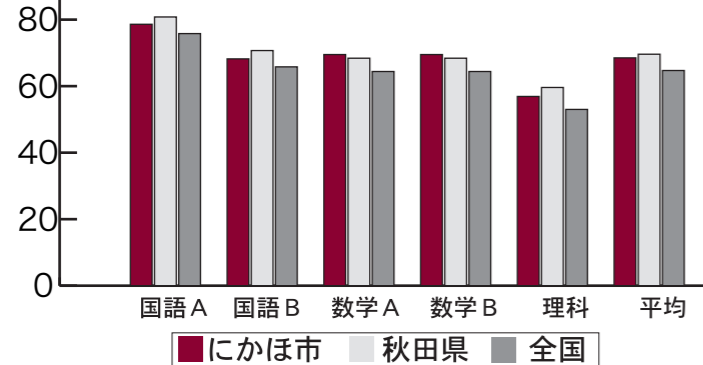
中学校理科

中学校理科は、ほぼ県平均並みの正答率となっていますが、化学の分野の問題に課題を残す結果となっています。

質問紙調査

質問紙調査の結果では、小・中学校ともほぼすべての質問項目で良好な回答をしています。とりわけ、「今住んでいる地域の行事に参加している。」と回答した児童生徒の割合は、全国を20パーセント以上も上回っており、地域やふるさとへの関心

中学3年 平均正答率の比較



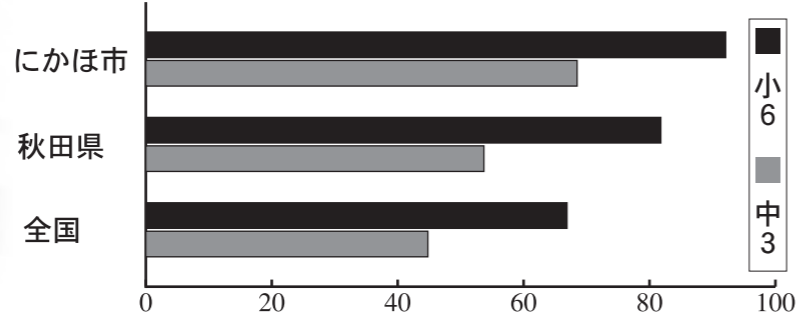
の高さを感じる結果となっています。

また、「自分にはよいところがある」と答えている児童生徒も増加傾向にあります。

一方で「国語が好きだ」と回答した児童生徒の割合は、全国よりも低く、国語好きの子どもを育てるための方策が必要となっています。

質問紙調査 (はいと答えた割合の比較)

・今住んでいる地域の行事に参加していますか？



今年度の調査から見られる本市の児童生徒の課題は、問題文を読んで、問われていることを理解すること、自分の考えを分かりやすく書くということです。

特に、問題文が長くなったり、問題を解くための情報が複数になつたりした場合に、正答率が低くなる傾向にあります。問題文を読む際にキーワードに線をひいたり、最後まで根気強く読んでから問題に取り組んだりするなどの対策を講じていく必要があります。また、自分の考えを説明する際、話す組み立てを考えた例を挙げたりするなど工夫が必要となります。

これらの対策は、当然学校の授業の中で行われるべきものではありますが、授業で学んだことをより確かなものにするためには、家庭での反復も重要となってきます。

にかほ市の未来を担う子どもたちの学力向上のために、今後ともご協力をお願いします。

問合せ先 教育委員会学校教育課

☎ 38・2266